

コースコード：RH-EX280

税込価格：55,000円 (税抜価格：50,000円)

日数：1日間

前提条件

・ Red Hat 認定システム管理者 (RHCSA) であるか、同等の業務経験とスキルがあること
・ Red Hat OpenShift Administration II: Operating a Production Kubernetes Cluster (DO280) を受講している、または OpenShift Container Platform を使用した同等の実務経験があること
・ Red Hat 認定スペシャリスト試験 - OpenShift Administration - (EX280) の内容を確認していること
・ コンテナ技術の経験を有することが推奨されます
・ 無料のスキルチェック (<https://www.redhat.com/rhtapps/assessment/>) を受けて、この試験の準備に最適なコースを確認してください

受講対象者

・ OpenShift Container Platform クラスタの特徴と機能を理解する必要があるシステムアーキテクトおよびソフトウェアアーキテクト
・ OpenShift クラスタの初期設定をサポートする必要があるシステム管理者
・ OpenShift クラスタの継続的なメンテナンスをサポートする必要があるクラスタ運用者
・ OpenShift クラスタの継続的なメンテナンスとトラブルシューティングをサポートする必要があるサイト信頼性エンジニア (SRE)
・ OpenShift Container Platform のスキルを証明したいシステム管理者
・ Red Hat 認定アーキテクト (RHCA) を目指す Red Hat 認定エンジニア (RHCE)
・ Red Hat OpenShift Container Platform を使用して DevOps 環境で業務を行っているシステム管理者または開発者

コース概要

Red Hat 認定スペシャリスト試験 - OpenShift Administration - (EX280) は、Red Hat® OpenShift® Container Platform を使用して、クラウド・アプリケーション・プラットフォームを作成、設定、管理する知識、スキル、能力をテストします。

この試験に合格すると、Red Hat 認定アーキテクト (RHCA®) を取得する際の前提条件となる Red Hat 認定スペシャリストを取得できます。

この試験は、Red Hat OpenShift Container Platform 4.10 に基づいています。

目的

Red Hat 認定スペシャリスト試験 - OpenShift Administration - に合格する

アウトライン

以下に、試験の主な作業領域を示しますので、試験の準備にご活用ください。Red Hat は、認定試験の内容を追加、変更、削除する権利を留保します。変更する場合は、事前にお知らせいたします。

Red Hat 認定スペシャリスト - OpenShift Administration - には以下のタスクを実行する能力が必要です。

OpenShift Container Platform の管理



- ・ コマンドライン・インタフェースを使用して、OpenShift クラスタを管理および構成する
- ・ Web コンソールを使用して、OpenShift クラスタを管理および構成する
- ・ プロジェクトを作成して削除する
- ・ Kubernetes リソースをインポート、エクスポート、設定する
- ・ リソースとクラスタのステータスを確認する
- ・ ログを確認する
- ・ クラスタイベントとアラートを監視する
- ・ 一般的なクラスタイベントとアラートのトラブルシューティング
- ・ 製品マニュアルを使用する

ユーザーとポリシーの管理

- ・ 認証用に HTPasswd ID プロバイダーを構成する
- ・ ユーザーを作成して削除する
- ・ ユーザーのパスワードを変更する
- ・ ユーザーおよびグループの権限を変更する
- ・ グループを作成して管理する

リソースへのアクセスの制御

- ・ ロールベースのアクセス制御を定義する
- ・ ユーザーにアクセス許可を適用する
- ・ 機密情報を管理するためのシークレットを作成して適用する
- ・ セキュリティコンテキストの制約を使用してサービスアカウントを作成し、アクセス許可を適用する

ネットワークコンポーネントの構成

- ・ ソフトウェア・デファインド・ネットワークをトラブルシューティングする
- ・ 外部ルートを作成して編集する
- ・ クラスタネットワークの進入を制御する
- ・ 自己署名証明書を作成する
- ・ TLS 証明書を使用してルートをセキュリティ保護する

ポッドスケジューリングの構成

- ・ リソース使用量を制限する
- ・ 増加する要求に合わせてアプリケーションを拡張する
- ・ クラスタノードへの Pod 配置を制御する

Red Hat のすべての実技試験と同様に、再起動後も自動で設定が維持されるようにする必要があります。